



講師 木村 克己 氏 防災科学技術研究所 主幹研究員



首都圏は関東構造盆地の沈降の中心に位置しており、住宅や産業施設が密集している東京低地には厚い軟弱な沖積層が伏在している。東京低地とそれに隣接する台地の成り立ちについてボーリングデータの解読と三次元地質モデルに基づいて紹介し、造盆地運動や変動地形の視点から地形・地質発達史を考察する。

図上：東京低地の沖積層基底面が示す埋没地形
木村・花島・西山・康(2012)

図下:王子付近を通る北東-南西方向の地質断面図

日時 2017 年 7 月 21 日 (金)

15:00 ~ 17:00【14:30 開場】

会場 深田地質研究所 研修ホール

定員 80 名（先着順） **参加費 無料**

申込み開始：2017 年 7 月 3 日（月）

申込み締切：2017年7月19日（水）

定員に達し次第締め切ります。

参加ご希望の方は、必ず事前に深田研ホームページの申込みフォームからお申込みください。FAX・ハガキでもお申込み可能です。その際、氏名・所属・連絡先（住所・電話番号）をご記入ください。

「深田研談話会」は技術士 CPD（継続教育）履修実績として申請することができます。



都営地下鉄三田線 千石駅A1出口より徒歩3分

公益財団法人 深田地質研究所
〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-13-12
TEL 03-3944-8010 FAX 03-3944-5404
<http://www.fgi.or.jp/>